

平成20年度一般会計決算討論

歳入:188億2,806万円

歳出:179億8,332万円

討論の要旨は討論者が要約しています。

賛成討論

公明党吉川市議員

小野 潔

平成20年度決算は歳出総額179億8千3百万円、歳入総額188億2千8百万円で歳入歳出ともに増額。自主財源の確保に努め健全な財政運営の結果である。注目すべき点はDV防止及び被害者基本計画の策定、障がい者就労支援センターの委託開始、妊婦健診を5回に拡充、地震・洪水ハザードマップの作成、中

賛成討論

市民改革クラブ

伊藤 正勝

20年度は「財政危機回避3カ年計画」の最終年度。黒字決算の報告は評価。が、3カ年の総括がない。20年度は当初、北谷小の耐震大規模工事を予定、21年度に繰り入れした。数字は先送りや操作によっても変わる。今後の取り組みに期待し認定には同意するが21年度はもっと「解る、見える」内容に工夫してほしい。時代の転換期。例えば税、

央地区区画整理事業や中央排水区第1調整池の整備推進、認定農業者の育成・確保に努め地元産農産物のPRや一店逸品事業の拡充を図る、北谷小、南中の耐震・大規模改修

工事の設計がなされた。限られた財源の中で、市民生活の安定と優先度の高いサービスを提供を評価し賛成します。

反対討論

日本共産党吉川市議員

遠藤 義法

平成20年度一般会計で使い残したお金が8億4千476万円を超えています。市民要望が「財源がない」と断られており、もっと積極的に要望に応えるべきです。とりわけ60歳以上の方の施設利用無料化が70歳以上に引き上げられ

財政構造の変化。国の景気対策予算の活用状況。都市計画税の使途。新駅。駅南、中央土地事業。吉川橋、新トンネル、道路の進捗。江戸川、中川大場川。国、県、UR等の取り組み含め、まちづくり、福祉、教育の全貌の説明を

賛成討論

自由民主党吉川市議員

加崎 勇

平成20年度の決算について賛成の立場で討論いたします。平成19年度と比較いたしますと全体的には10・3%の増でありましたが、内容的には駅南区画整理事業に係る道路

温水プールなどの利用が激減したままです。さわやか市民バスの廃止で高齢者や障がい者が病院などへ出かけるのが大変困難となっており、事業を工夫し復活すべきです。

市長は市民参加と強調するが、施設の民間委託など行革の方針を決めれば結論先にあるべきで、市民の声に耳をかさず強行する姿勢は問題です。

平成20年度吉川市一般会計歳入歳出決算の認定について賛成の立場で討論します。20年度決算は厳しい財政状況や、

改良負担金と国庫支出金が増額になったものであり他の収入については大差なく自己財源は、前年並みでありました。

そのような状況下にあっても事業の選択に当たっては、市民への影響度や行政需要を勘案し行っており、特に中学校耐震大規模改修工事や、その他「安心・安全なまちづくり」を主眼に行政運営がなされております。今後とも歳入に見合った歳出構造とし健全運営を期待し賛成討論とします。

賛成討論

民主党

安田 真也

国の三位一体の改革の影響、世界同時不況という多くのマインナス要因があったが、適正・的確な予算執行があったと受け止めております。単年度収支は、一般会計・特別会計ともに黒字であり、合算して約3億4千500万円の黒字であった。また、公債比率も目安とされる10%以下を達成しており、良好であります。平成21年度の予算執行や今後の予算編成において、今以上に社会的弱者の救済や市民要望のさらなる取り入れを強くお願いを致します。